

刊夕日四廿月十



定価 一部金紙 月金五銭 郵税五銭
 廣告料 五銭 十二字 一行 金五銭
 日曜 祭日の 翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 二一四番

市制實施の概要

平町は人口其他の自然増加を俟たず市制促進を企圖するは如何なる理由に依るかとは一應當然の當然の質問である故に、市制を施行するとせざるとに於て其利害關係は獨り平町獨自の立場に於てのみ關係生ずるものにあらず、廣義的に見れば本郡地方全體に利害關係が波及すと存在なることを認識せられ度思ふのであります。

一、市の存在は町村とは違ひ特種の待遇と恩典とが加はります。其二三の例を示せば
 イ、道路下水の改築工事を爲すに當り都市計畫法に依り多大の國庫補助費を要求することが出来ます。
 ロ、都市建築物に對し建築法に基き防火建築防火壁の構造を爲す場合は建坪壹坪金五拾圓以内の補助制度があります。

ハ、商工省の認可制に依り商工會議所を設け市の産業開發若くは商工業等の誘致分配を決議し權威ある産業機關と爲すことを得るのであります。

二、金融機關の充實は産業に及ぼす影響甚大なるは申すまでもなく平町が市となれば興業銀行の出張所を設置し、最低金額貳百圓まで無擔保貸付を爲す規定にて居ります。亦農工銀行其他の普通銀行に於ても平窪が市となれば田畑宅地を市街地と見て金融することとなり町村とは全然別個の取扱ひを受くる資格を有

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁・玉葱 小付
 あみの佃煮
 【晝】かぶの葉芥子和小井 うぐいす豆
 【晚】天ぷら—いか 穴子
 割醬油 大根おろし
 清汁—わかめ

シ家庭工業又は手藝品製作の如き若くは農業經營者に頗る便利を與へらるゝ事となるのであります。
 ホ、交通量に於ては第六號國道即ち濱街道が縣下第一であり、原則的に論ずれば先づ第一に勿來久の濱間を國道改良の第一歩とし舗装道を起工するを適當なりと信ず、然るに事

市原醫院

平町・四町
 電話二一四番

井坂醫院

平町 田町
 電話九五九番

期日 來る十一月三日午前八時(雨天・強風中止)
 場所 平第三小學校々庭

第四回 郡模型飛行機競技大會開催

機體 A組トヨタ式(丸・四角・三角胴)
 B組ライトプレーン式(一本胴)
 賞品 一等大銀カッブ外七等迄
 参加資格 誰にても可多數御参加を願います

主催 平 常磐毎日新聞社
 後援 平 常磐毎日新聞社

日本開店

御食事と 喫茶
 グリル バツカス
 平町銀座通り
 電話七〇二番

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
 平町 南町 一六(電話一七〇番)

平岡鮎 レストラン
 電話六二四

松茸料理始めました

松茸どびんむし

はもなべ	三十錢
煮込なべ	三十錢
鳥なべ	三十五錢
豚なべ	三十五錢
牛なべ	三十五錢
よせなべ	三十錢
ちりなべ	三十錢

平三警署裏通り 魚清食堂

電話六三三

秋……味覺の秋!

おでんとなべ

……味は江戸前。種は江戸から本場からはまなべ。ねぎまなべ。よせなべ。しやこなべ。二十五錢均一
 御用命は電話六七九番へ
 遠近に不拘御届け致します。
 何卒御試食の程を……

江戸前 杵 壽司

出前迅速

軍旗を一先づ 役場内に安置

一般人の奉拜を許可

新川以南で突撃開始

將兵に配ると

各週間に 平校の打合

第二師團演習参加のため來郡する若松部隊は二十九日午前十一時の臨時列車で平驛着、軍旗は直に奉迎裡に平町役場構内に安置して一般の奉拜を許可、部隊は同町マルトモ書店前より紺屋町の國道筋で休憩の後零時半から一丁目地内で化學部隊も加へ壯烈な市街戦を展開、漸次新川以南に移動して五百名の市内中等學生軍と對抗の突撃戦を開戦、終つて第三小學校々庭で軍旗を奉迎して嚴肅な分列式を舉行、四倉町に向つて行進を行ふことになつた

平驛助役を増す

山崎平驛長が首實験に

けふ水戸運輸事務所へ

平驛は従來助役一名に補助々役一名を設けて驛長を補佐して來たが最近益々業務多端を極めて事務に差支を

驛頭に 軍旗奉迎

軍旗奉迎

赫々の武勳を誇る若松部隊の軍旗を奉迎する平町では昨二十三日午後一時から既報の如く奉迎並に將兵慰問の打合せを行つた結果、當日町役場關係、各種團體代表者等が驛ホーム及び驛廣場に並んで軍旗を奉迎沿道に奉拜する一般民の歡呼裡に町役場構内に安置することになつた、尙平町では將兵慰問のため慰問袋(大梨キャラメル在中)を作成各

驛長は新助役物色打合せの爲め本廿四日水戸運輸事務所に出張した

平署が惜しくも 二年連勝の機を逸す

二年連勝の機を逸す

平署剣道武道選手は二十三日午前九時から福島市武徳殿に舉行された第二十二回縣下警察官武道大會に出場したが柔剣道共敗れ、劍道部の二年連勝を惜しくも逸した、戦績左の如し

△劍道第二回戦

平 遠藤 2-1 郡山 植松

△同個人試合

二 等 平 三段平間惣治

△柔道第二回戦

平 渡邊 2-0 本宮 佐藤

△同第三回戦

練習所 荒 2-1 平 渡邊

△同個人試合

三 等 平 初段渡邊 武

飯野で耕起

飯野で耕起

二毛作増殖獎勵指導地に指定された飯野村北白土は三

オリムピツクの旅

【三】

往來途上の印象記

辯護士 松野尾 繁雄

然しそれが判らなかつたので一々中を見られるので時間がかつた。手紙や書いたものはやかましいときいたがこれも形式一通で簡単たがこれも形式一通で簡単たがこれ何分言葉が通じないが、二、三人の係りのうち少くも一人は英語を話すし、こちらのブローケンな英語と手真似で結構不都合

砂防用の木材繁茂

砂防用の 木材繁茂

縣の買上を

平營林署では同署管内産出の砂防工事用木の「ヤシヤブシ」購入方を近く縣土木課へ陳情する事になつたが從來同木は縣内には繁茂せなかつたため縣土木課では滋賀縣内から毎年十餘萬圓の大量購入を以つて縣内の砂防工事用材に充當して來たが最近になつて平營林署で管内を調査して見ると相當に繁茂して居り且つ將來共充分繁茂の好適地なること判明

平町人事

回出生

古殿治町二九矢島力雄氏二

社 告

大飛躍!

新活字を使用 内容は倍加す

多彩的な十三段制

紙面を改革

本社は社屋新築と共に設備の充實を遂げて各般の準備を完了愈よ來月二日から現在の舊式五號活字を全廢、ルビ付きの七ポイント及び九ポイントの新活字を使用して『二面十三段制』に紙面を改革致します。この體裁の整備に依つて掲載記事は現在より倍加する事になり、敏速、正確を誇る報導記事の外に趣味、家庭、娛樂等に關する読みもの、一欄を新設、多彩的に紙面の充實を圖り、更らに大犠牲を拂つて大衆文壇の巨匠を促し左記の如き二大珠玉篇を

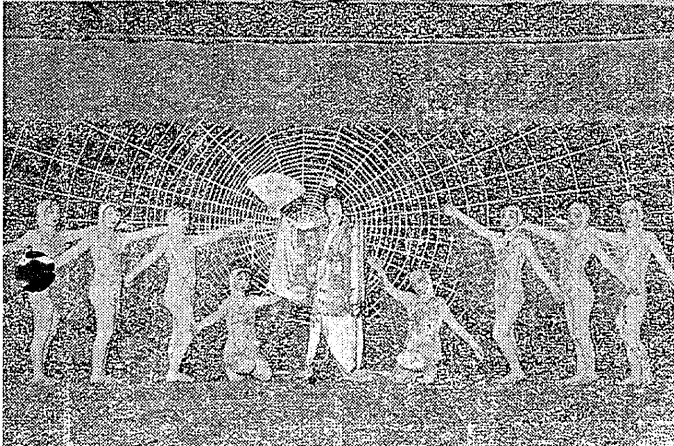
護れ太平洋の海

寺島征史作 村瀬春映畫

白柄劍風連

大島多慶夫作 井川洗涯畫

飾つて連載、名實共に市制途上に躍進せる郷土の機關紙として各位の座右に好伴侶たらしめまます數日後に迫る此の本紙の飛躍振りに御期待を乞ふ次第であります。



突如! 廿年ぶりで

松天 齋勝 演來

好機逸する勿れ 今回は最後の 天勝師の妙技!!

十月廿六の二日間

於聚樂館

期待された 音楽會

磐女生が築く 幽幻な樂の園

平地方に於ける秋の樂壇は例年磐女校がリードして各種の豪華版的デビユーに依りそる人々の心を幽幻な樂の園に陶醉せしめその行事を待ちもうけられて居るが本年もバザールの開催で人々に賑ふ機会を捉へ明廿五日午後一時から新講堂に音樂會を開く爲め田中教諭は先般來生徒を熱心指導して居たが流石にピアノ四臺を有し縣下一の臺敷を誇るだけに同校の音樂向上は素晴らしいものがあり聴衆の感激を期待される演奏題目左の通り

ピアノ聯奏「獵人の歌」二部輪唱「裴蟲」ピアノ獨奏

晴れの當日を 待つ磐女バザール

待つ磐女バザール

既報明二十五、六日兩日の磐女バザールは既に各出陳品の整理も済み食堂部の用意も出来て當日を持つばかりになつてゐるが開場時間は二十五日午前九時から午後三時、二十六日午前九時から正午迄である由

籠排球戦

磐女メンバー

バザールと共に明廿五日午前

- 代 飯塚サト子 小園井 瑞美 高木純子 遠藤スエ 鯨岡祈美子
- △排球部(四年)主將立花 キミ 鈴木キヨ 飯島しげ 鷲マス 菊地テツ子 吉田久美(三年)正木千鶴子 江川照子 鯨岡富子 大泉經子 鈴木トヨ子 春川チカ 渡邊民江(二年) 佐川エツ子 榊原キクエ 立花アイ子

防火デー延期

月上旬行はれる豫定だつた防火デーは都合で十二月一日施行に延期された

入り亂れる 三百五臺

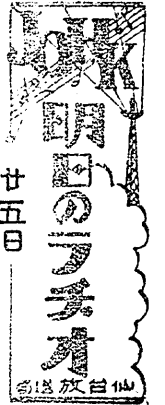
スピーディーな交通網 乗用と貨物車

平署管内(十月二十日現在)自動車總数は三百五臺あり乗合車百六十臺、貨物車百四十五臺が入り亂れて疾驅、近代交通網の完備を誇りスピーディーな石城文化の外貌

紅葉映ゆる 山野を訪ねて

山野を訪ねて

第四日曜の明二十五日は愈々深む秋に空は晴れたり気はそるの文字通り明日の日曜はどつと郊外へ雪崩れでる人達で賑ひを豫想されるが、さてお天気はどうか?小名濱測候所のお天



明日のラジオ

今晚の部

後六、〇〇 連續童話劇「ボンボコ姉妹」くせなはし物語「BKコードモター」クルミ桃谷中繼
後六、二五 講演「放送用語と外國地圖」神保格の「後七、三〇 子供と家庭の夕一新筆曲「鈴虫」秋の日施行に延期された

明日の話題

今晚は東の風晴 明日は東の風晴 後曇り

草一谷井歳實他2昔ばなし 田中賢司、月野道代 3ラデオドラマ「月光の曲」深見泰三他4獨唱と合唱 内本實、コアラナニワ5ラデオ風景「山登り」伏見正光他
後九、〇〇 時事解説 小室誠
後九、三〇 時報 ニュー

明日の話題

報 番組預告

前八、〇〇 狩獵網捕獲 實況 仙臺市荒巻山中繼
前九、三〇 歌と管絃樂 二高明善寮生 同音樂部 横濱市神奈川パブラスト 教會中繼
前一〇、四〇 講演「東北地方に残る大家族制と部落共同體」中川善之助
前一、一〇 講演「東北地方と滿洲國との緊密關係に就て」石橋哲爾
前一、四〇 六大學野球

平驛精神講話

平驛では二十五日午前八時半から同驛會議室で大正大學教授佐川學順氏の精神講話を催す

裁判一束

△既報双葉郡長塚村宇瀧川農朝田義祐(三)の内妻伊藤ハルヨ(四)が嬰兒を殺害した事件は未だハルヨが産褥中にある爲め氏家検事が任當時出張床訊問を行つた結果罪狀明白となりけふ平支部の豫審に附された

けさの初霜

二週間程速い

平地方は二、三日來急速な氣温低下早くも寒氣來るに怖えて朝晩は袷に袷羽織の本格的な冬仕度に衣更ひの態、本二十四日は全く思ひもかけぬ降霜あり本年初のものとして驚かせたが例年に比し大體二週間程早く比較的薄霜なので野菜等には被害なく稲も刈り取り中なので難を免れた、尙最近五ヶ年間の降霜記録は左の通り

五つの慰問袋に

全級の少女が真心こめて

平第二小學校五ノ三女生正木タツ子さん、木村イミさん、管本ヨシさん三名は本二十四日午前中町役場を訪れて五包の慰問袋を差出し、右はクラス六十六名の女生徒が極寒の滿洲の野に活躍する兵隊さんを慰めませうとお互に小遣を溜め合せて作成した少女の真心こもる贈りものである



提灯

見解の異なる瓦解

(補上) 悟道軒圓玉(作) 丸尾至陽(書)

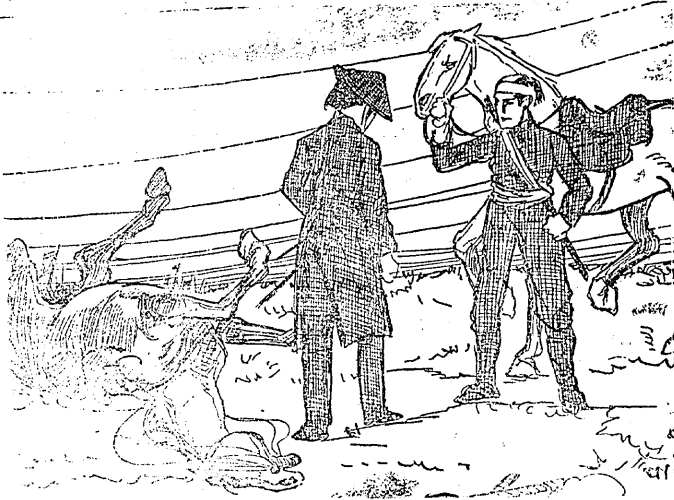


二五三 二股口の激戦

大鳥圭介君は五稜廓より木古内まで出て来て引きあがの命令をつたへた、ところが將校はこれと聞き入れない、これから松前へ進んで官軍をみな殺しにして彼地をうばひかへさねばならぬといふ、大鳥君は言葉をつくして説いたが應じはぬ、すると伊庭八郎が

八「これさあ、俺は大鳥君のいふことに賛意を表する、また榎本總裁の申すこともつとめた、こゝで敵をふせぎ居ると寄手は大軍のこと故函館付近へ上陸するであらう、さうなると五稜廓も危険だ、したがつてこゝに居る者は敵軍のために前後を取り切られて不利と知りつゝ戦はねばならぬさうなれば徒らに死傷者を増すばかりよつて、何引き上げたがよからう、何時でも死ぬことは出来る、こゝで死なねば他に死に場所のないわけではあるまいさアさ引きあげた」

た、時に大鳥君がこの中の兵をさいて泉澤とそれについた矢不來といふところを守らせ、あとは残らず引きあげて五稜廓及びその付近まで戻つた、大鳥君の部



下となつて戦つた者の説によると、大鳥君は戦ひが巧妙で、これはいかぬと見ると引きあげて敵にその地を占領させ、しばらくして彼にあの地をとられたのは残念だ、それ押せと又そこで兵を引いて向ふ一旦引きあげておいて味方を損ぜぬやうにしてそれから一休息した上に又戦ふ、それですか

ら一旦は占領された地も又自分の手におさめることも出来る、それに大鳥君は戦ひにまけてもすこしもおどろかず、おどろかぬ程ですから面目ないといふやうな態度もない

大「イヤ榎本總裁、又今度も負ました」

やぶれても更に心にかげぬこの戦に負けた爲に後來の利益になることを發見したといつて喜んだとのこと、つぎに面白いお話がある、大鳥君は丈も低く男として小兵です、それですら會津の人がはじめて大鳥君を見た時に、大鳥さんは大きな立派な男だともつたが小兵であるな、名は大鳥

だが雀のやうだといつて笑つたさうです、何にしても幕末の歴史をかざる立派な人物に相違ない。

こゝでお話一變して二股口をかためてゐたは土方殿の率ゆる兵、この土方は幕軍の將校中のハイカラでした、きりつとした幕服を着て長い剣を帯び、巻たばこをふかしながら兵を指揮したさうです。すると四月の廿三日の早朝敵がおして來た、幕軍は胸壁によつて防戦したが敵軍は新しき入かれかへ入れかへ攻めよせ、ために幕軍は苦戦です。巻煙草をくはえてゐた土方はバラリと煙草をすて、剣を引きぬき

土「それ射ても一息で戦ひは勝ちだぞ、イヤ敵も強いんだ。」

と瀧川は部下の兵を指揮してこれまた壁によつて戦ふ、敵は多くの死傷者を出したが更に屈せず、ますます攻めよせる、これを見て瀧川が俺に續けといつたが胸壁を飛びこえて群がる寄手に斬り込んだ、かくと見て部下の兵にこれまた胸壁をこえて寄せ手に斬り込んだ。

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男

平町田町 (電話五八番)
藤田女學校前

自炊のお需めに應ず
入院の便あり

十一月新譜發賣

幻想交響曲

滿洲吹雪 等其他

會田時計店
四丁目 電話三三三番

金光堂時計店
五丁目 電話一九五番

久全屋商店

磐城セメント會社特約店

磐城平町五丁目 電話九・九九

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は久の生命なり

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話 六八番

醫學士 吉田 久雄

福島縣平町二丁目

西村屋藥局

藥劑師 鈴木堅助

電話 三番

振替(東京六・二九九
仙臺一・二〇一)